

V 将来像の実現に向けた具体的取組

以下、全ての具体的取組について、連携協約に規定する。

【取組の体系図】

分野	基本方針	取組	NO.	
①圏域全体の経済成長のけん引	①市町の特長を生かした一体的な産業振興と企業活動支援	①中小企業の振興	1	
		②企業立地の支援	2	
	②農林水産物のブランド化と6次産業化による販路拡大	①圏域が誇る農林水産物の消費拡大	3	
		②有害鳥獣の連携捕獲	4	
		③ICT等を活用した「スマート農業」の研究	5	
	③山・街・海をつなぐ広域観光の推進	①「道後温泉」を軸とした観光振興	6	
		②圏域全体の観光資源を対象としたプロモーションやファムツアーの実施	7	
②高次の都市機能の集積・強化	①安全・安心の圏域づくり	①救急医療提供体制の維持	8	
		②火災調査事例の共同研究と合同調査	9	
		③消防分野の合同就職説明会	10	
		④圏域内消防機能の共同運用	11	
	②広域的公共交通網の構築と圏域拠点の整備	①都市圏域内の道路ネットワークの強化	12	
		②松山空港の利用促進	13	
		③JR松山駅周辺地区整備事業による広域交通結節機能の向上	14	
	③圏域における課題解決機能の向上	①松山アーバンデザインセンターによる人材育成	15	
		②SDGsの推進	16	
	③圏域全体の生活関連機能サービスの向上	①医療・介護・福祉サービスの充実	①救急医療の適正利用	17
			②救急ワークステーションの活用	18
			③健康づくりの推進	19
			④地域包括ケアシステムの推進	20
		②結婚・出産・子育て支援の充実	①病児・病後児保育の広域受け入れ	21
②保育を必要とする子どもの広域受け入れ			22	
③児童クラブ支援員研修の連携			23	
④子育てイベントや研修の共同開催			24	
⑤出合いイベント等による婚活支援事業の連携・共同実施			25	
⑥産後ケア事業の推進			26	
③文化・スポーツ施策等を通じた圏域の活性化		①圏域全体の図書館利用対象者の拡大	27	
		②圏域全体の文化施設の戦略的な活用	28	
		③プロスポーツ支援	29	
		④スポーツ大会等の誘致・開催に向けた連携協力	30	
④災害対策の推進		①災害対策広域連携事業の推進	31	
		②災害時の廃棄物処理に関する連携の推進	32	
⑤環境保全施策の推進		①圏域での地球温暖化対策の推進	33	
		②環境学習・普及啓発の推進	34	
		③合併処理浄化槽の普及促進	35	
		④汚泥の共同処理に係る調査研究	36	
	⑤重信川流域自治体による地下水の保全	37		
	⑥圏域内でのごみ処理広域化の検討	38		
⑥暮らしたい・戻りたいと思える圏域づくり	①移住の促進	39		
	②広報紙の連携	40		
	③若者のふるさと体験を通じた誇りや愛着の醸成	41		
	④民間が主導する連携事業の推進	42		
⑦圏域内行政サービス効率化等の推進	①公共データの公開拡充と利活用促進	43		
	②空き家対策及び公営住宅の管理等の共有化	44		
	③実務研修員の受け入れ	45		

(注)連携の強み4分類の意味は、以下のとおり。

範囲 強みを持ち寄り、それぞれの持つリソースやノウハウを活用する

規模 圏域全体を1つの自治体と捉え、スケールメリットを働かせる

密度 圏域の中心地を使い、それぞれの利益や生産性を上げる

集積 地域の未来に投資できる産業を集積させる(産業クラスターなど)

NO.	取組番号	重点	連携の強み(メリット)				SDGs(17の目標)	
			範囲	規模	密度	集積		
1	111	★	●	●	●	●	8 17	丸数字はP72の「SDGs17の目標」の表に対応している。
2	112		●			●	8 9 17	
3	121			●			2 8 17	
4	122		●				15 17	
5	123	★		●		●	2 8 9 17	
6	131				●		8 9 17	
7	132	★	●	●			8 9 17	
8	211			●			3 17	
9	212	★	●				11	
10	213	★		●			5 8	
11	214	★		●			11	
12	221	★		●	●		8 11	
13	222			●	●		9 11 17	
14	223			●			11	
15	231		●			●	4 11 17	
16	232	★	●			●	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17	
17	311			●			3	
18	312		●				3	
19	313		●				3 4 11 17	
20	314			●			3 11 17	
21	321	★	●				3 4 8 17	
22	322	★	●				4 8 17	
23	323		●				3	
24	324		●				3 17	
25	325		●				11 17	
26	326	★		●			3 11 17	
27	331		●				4	
28	332		●				4 17	
29	333		●				3 11 17	
30	334	★	●	●			3 8 17	
31	341			●			11 17	
32	342	★	●				11 13	
33	351		●				4 7 13 14 15 17	
34	352	★	●				4 17	
35	353			●			6	
36	354			●			6 11	
37	355		●				6 15	
38	356	★		●			11	
39	361		●				11 17	
40	362		●				11	
41	363	★	●		●		4 11 17	
42	364	★	●				11 17	
43	371			●			9 16	
44	372		●	●			11	
45	373		●	●			8	

分野1 圏域全体の経済成長のけん引

【基本目標】

成果指標 < KPI > (単位)	基準値 (R1年度)	目標値 (R7年度)
圏域内総生産(百万円)	2,127,032 (H29)	2,132,000 (R5)
観光客数(千人)	11,089	11,180

圏域内の関係市町、産業界、大学及び金融機関などが連携した商談会の開催による中小企業の振興や、農林水産業の活性化、広域的な観光施策の展開など、圏域全体の経済成長のための取組を推進する。



(1) 市町の特長を生かした一体的な産業振興と企業活動支援(11)

取組名	中小企業の振興(111)	連携市町	全市町			
取組概要	産学金官民で連携して商談会を開催し、販路拡大を図るなど、中小企業の振興を行う。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	8,890	8,890	8,890	8,890	8,890	44,450
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、他市町内の事業者への周知・啓発等は当該市町が実施する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)	基準値(R1年度)	目標値(R7年度)			
	商談会における 松山圏域企業の 商談件数(件)【※累計】	348	1,750			
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット	範囲	規模	密度	集積		

取組名	企業立地の支援(112)	連携市町	全市町			
取組概要	景気動向や雇用状況等、圏域内の状況について意見交換や情報共有を行うとともにコロナ禍による地方見直しの動きも注視しつつ、松山圏域での企業の誘致、拡大、定着及び留置に向けた活動に繋げるほか、圏域の戦略も検討していく。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市を中心としつつ、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)	基準値(R1年度)		目標値(R7年度)		
	県や圏域市町と連携して誘致活動等を行った件数(件)	8		10		
SDGs 17の目標	  					
圏域メリット	 					

(2) 農林水産物のブランド化と6次産業化による販路拡大(12)

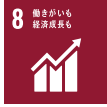


取組名	圏域が誇る農林水産物の消費拡大(121)	連携市町	全市町			
取組概要	圏域の各市町が連携し、官民連携による商品開発のほか、広報やPRなどを通じて農林水産物の消費拡大に向けた取組を推進する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	480	480	480	480	480	2,400
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	全市町が協議し、取組に参加可能な市町が、費用負担する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)	基準値(R1年度)		目標値(R7年度)		
	消費者が地元産の農林水産物を利用する割合(%)	48.0		50.0		
SDGs 17の目標	  					
圏域メリット						

取組名	有害鳥獣の連携捕獲(122)	連携市町	松山市、伊予市、東温市、久万高原町、砥部町			
取組概要	実務者レベルの職員による協議の場を設けて圏域市町の協力体制を継続するとともに、モンキー犬や煙火などの試行を検証し横展開等を図ることで実効性のある有害鳥獣対策の取組を行う。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	28	28	28	28	28	140
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	連携可能な市町が、部分的に費用負担する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	有害鳥獣被害面積 (ha:ヘクタール)		60.3		55.0	
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット	範囲					

取組名	ICT等を活用した「スマート農業」の研究(123)	連携市町	全市町			
取組概要	各市町でのスマート農業に向けた取組を情報共有し、それぞれの産品や農地の事情に応じた技術の導入について研究する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	情報交換会 開催回数(回)【※累計】		—		5	
SDGs 17の目標	   					
圏域メリット	規模 集積					

(3)山・街・海をつなぐ広域観光の推進(13)

取組名	「道後温泉」を軸とした観光振興(131)	連携市町	全市町			
取組概要	道後温泉を核として、道後温泉別館 飛鳥乃湯泉等において連携市町の特産品のPRや情報発信を行う。また、圏域内の温泉施設の連携も含めた研究を行う。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	温泉施設の連携は松山市が中心となって検討する。 特産品PRや情報発信は連携市町と協議し、可能なものから実施を検討する。					
費用分担の 考え方	特産品PRや情報発信については情報発信実施市町で負担する。 その他は、関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	道後温泉別館等における 連携市町のPR連携回数(回)		10		12	
SDGs 17の目標	  					
圏域メリット	密度					

取組名	圏域全体の観光資源を対象としたプロモーションやファムツアーの実施(132)	連携市町	全市町			
取組概要	圏域全体の観光資源を有効活用し、周遊観光を促進するため、タクシーやレンタカー、観光バス等の二次交通の整備や、周遊観光ルートの提案を行う。また、国内外へ効果的な情報発信を行い、圏域全体での観光誘客を図る。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	原則として松山市が負担するが、詳細は関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	県内外での観光誘客イベントや プロモーション活動の実施件数 及び旅行商品数の合計(件)		1		4	
SDGs 17の目標	  					
圏域メリット	範囲 規模					

V

将来像の実現に向けた具体的取組

分野2 高次の都市機能の集積・強化


【基本目標】

成果指標 < KPI > (単位)	基準値 (R1年度)	目標値 (R7年度)
広域交通拠点 (JR松山駅、松山空港、松山観光港) の乗降客数 (千人)	8,660	8,700



将来にわたって安全・安心に暮らしていけることを目指して、消防分野での連携をさらに深め、また、広域的公共交通網などの整備を図るとともに、アーバンデザインやSDGsの考え方を取り入れながら圏域課題の解決を図っていくことにより、更なる都市機能の強化・充実を目指す。

(1)安全・安心の圏域づくり(21)

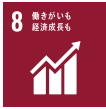



取組名	救急医療提供体制の維持(211)			連携市町	全市町	
取組概要	松山医療圏として圏域で取り組んでいる救急医療提供体制を24時間/365日維持する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	234,500	234,500	234,500	234,500	234,500	1,172,500
役割分担の考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	松山医療圏での救急医療提供体制 (時間/日)		24時間/365日		24時間/365日	
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット	規模					


取組名	火災調査事例の共同研究と合同調査(212)	連携市町	全市町			
取組概要	圏域の消防防災力を向上させるため、火災調査事例報告会を合同で開催し、圏域内で発生した特異な調査事例等を消防本部間相互に共有することで、圏域の火災予防及び消防活動体制の向上に繋げる。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	松山圏域を参加対象に実施した報告会の回数(回) 【※累計】		—		5	
SDGs 17の目標						
圏域メリット	範囲					



取組名	消防分野の合同就職説明会(213)	連携市町	全市町			
取組概要	性別を問わず、様々な場面で活躍する機会がある消防の現状をしっかりと理解してもらうよう、圏域内消防本部合同で説明会などを行い、採用拡大に繋げる。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市を中心としつつ、各市町と協力して実施する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	消防吏員として女性を採用している圏域内本部の割合(%)		75		100	
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット	規模					

取組名	圏域内消防機能の共同運用(214)			連携市町	全市町	
取組概要	消防指令センターや特殊車両等、消防機能の共同運用により持続可能な消防体制を構築する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	連携可能な市町と協議し、決定する。					
費用分担の 考え方	連携可能な市町が負担する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	共同運用を開始した 消防機能(数)【※累計】		—		1	
SDGs 17の目標						
圏域メリット						

(2) 広域的公共交通網の構築と圏域拠点の整備(22)


















取組名	都市圏域内の道路ネットワークの強化(221)			連携市町	全市町	
取組概要	都市圏域内の道路ネットワークの強化を図るため、IC付近や松山外環状道路等の幹線道路を整備する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	173,697	267,700	1,338,476	1,384,621	2,577,300	5,741,794
役割分担の 考え方	松山市が実施する。 広域的な検討が必要な場合は、関係市町と連携可能性を協議する。					
費用分担の 考え方	松山市が負担する。 広域的な負担が生じる場合は、関係市町と協議する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	松山都市圏道路整備促進期同盟会 による幹線道路の整備促進に 向けた要望活動(回)		1		1	
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット	 					

取組名	松山空港の利用促進(222)	連携市町	全市町			
取組概要	松山空港の航路の維持確保等により、利用促進を図る。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	28,493	28,493	28,493	28,493	28,493	142,465
役割分担の 考え方	松山市が実施する。 広域的な検討が必要な場合は、関係市町と連携可能性を協議する。					
費用分担の 考え方	松山市が負担する。 広域的な負担が生じる場合は、関係市町と協議する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)	基準値(R1年度)		目標値(R7年度)		
	松山空港の利用者数(万人)	295		295		
SDGs 17の目標	  					
圏域メリット	 					

取組名	JR松山駅周辺地区整備事業による広域交通結節機能の向上(223)	連携市町	全市町			
取組概要	JR松山駅周辺を圏域全体の広域交通の結節点として、また、交流拠点としてふさわしい施設整備に取り組むとともに、連携の可能性を検討する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	1,600,000	1,600,000	2,200,000	2,500,000	2,400,000	10,300,000
役割分担の 考え方	松山市が実施する。 広域的な検討が必要な場合は、関係市町と連携可能性を協議する。					
費用分担の 考え方	松山市が負担する。 広域的な負担が生じる場合は、関係市町と協議する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)	基準値(R1年度)		目標値(R7年度)		
	松山駅周辺土地区画 整理事業進捗率(%) 【※累計】	49.8		93.3		
SDGs 17の目標						
圏域メリット						

(3) 圏域における課題解決機能の向上(23)

取組名	松山アーバンデザインセンターによる人材育成(231)			連携市町	松山市、伊予市、東温市、久万高原町、砥部町	
取組概要	松山アーバンデザインセンターが取り組むアーバンデザインスクールの対象者を圏域内住民から募集し、圏域内の市町と連携することで総合的なまちづくりをより広域的に推進する。					
概算費用(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の考え方	松山市が中心となってスクール活動を支援し、必要に応じて各市町と協議のうえ連携・支援内容を検討する。					
費用分担の考え方	松山市は既存のアーバンデザインスクール運営費を負担し、関係市町は関係市町がテーマのスクール開催経費を負担する。					
成果指標(KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	連携市町からのアーバンデザインスクール受講人数(人)【※累計】		5		17	
SDGs 17の目標	  					
圏域メリット	 					

取組名	SDGsの推進(232)			連携市町	全市町	
取組概要	産学金官民などの多様なステークホルダーが加入する松山市SDGs推進協議会(プラットフォーム)での活動を通じて、圏域内市町が連携しながら、SDGsの考え方に沿った持続可能なまちづくりを検討し、地域の課題解決に向けた取組の拡大に繋げる。					
概算費用(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	10,000	9,000	8,000	5,000	5,000	37,000
役割分担の考え方	松山市は、推進協議会事務局を担い事業を主体的に実施し、関係市町は、SDGsに係る市町内での周知・啓発等を実施する。					
費用分担の考え方	松山市は、推進協議会の運営費を負担し、関係市町は、市町内でのSDGsの周知に関する費用等を必要に応じて負担する。					
成果指標(KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	SDGs推進協議会でのセミナー・ワークショップの開催回数(回)【※累計】		—		34	
SDGs 17の目標	                					
圏域メリット	 					

分野3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

【基本目標】


成果指標<KPI>(単位)	基準値(R1年度)	目標値(R7年度)
社会移動数(転入者数-転出者数)(人)	▲570	0
合計特殊出生率※2	1.28	1.54

圏域住民の生活の利便性及び質的向上のための行政サービス機能のネットワーク化や、効率化等を推進し、圏域全体に対して住民が誇りに思えるようになるとともに、圏域外からも「暮らしたい・戻りたい」と思われる圏域づくりを目指す。

V



将来像の実現に向けた具体的取組



(1)医療・介護・福祉サービスの充実(31)

取組名	救急医療の適正利用(311)	連携市町	全市町			
取組概要	救急医療の適正利用に関するリーフレット及びガイドブックを共同で作成し、幼稚園、保育園等において、適正受診の啓発を圏域内市町で実施する。					
概算費用(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	6,500
役割分担の考え方	松山市が中心となって取り組み、各市町内での周知・啓発等は、当該市町が実施する。					
費用分担の考え方	関係市町で応分の負担を行う。					
成果指標(KPI)	指標名(単位)	基準値(R1年度)	目標値(R7年度)			
	啓発リーフレットやガイドブックを用いた出前講座・説明会の回数(回)	62	100			
SDGs 17の目標						
圏域メリット	規模					

※2:合計特殊出生率…ここでKPIに設定した合計特殊出生率は、進捗を管理できるよう本圏域で独自に算出したものであり、ベイズ推定や他の機関の発表するものとは異なる。算出方法は以下の通り。



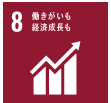

(算出方法)母の年齢別出生数(5歳毎)/母の年齢別人口(5歳毎)×5歳分(左記の数値について、15歳～49歳までのものを合算)、人口は、政府統計に掲載されている各年1月1日(算出年の翌年1月1日)住民基本台帳数値を採用



取組名	救急ワークステーションの活用(312)	連携市町	全市町			
取組概要	圏域内の救命率向上を図るため、「松山市救急ワークステーション」を活用し、救急救命士等の教育体制を充実させる。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	救急ワークステーションの救急隊員と圏域の救急隊員が相互に協力し、研修や訓練を実施する。					
費用分担の 考え方	費用が発生した場合は、関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)	基準値(R1年度)		目標値(R7年度)		
	松山市救急ワークステーションへの救急救命士等受け入れ人数(人)【※累計】	10		55		
SDGs 17の目標						
圏域メリット						


取組名	健康づくりの推進(313)	連携市町	全市町			
取組概要	健康意識の向上や主体的な健康づくりに多くの住民が取り組めるよう、他市町の住民も参加可能なオンラインの健康づくり講座を開催する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)	基準値(R1年度)		目標値(R7年度)		
	居住地以外で開催される健康づくりに関する市民公開講座にオンラインで参加した人数(人)	—		80		
SDGs 17の目標	   					
圏域メリット						


取組名	地域包括ケアシステムの推進(314)	連携市町	全市町			
取組概要	各市町での取組事例等を共有し、地域の課題を地域で解決する地域包括ケアシステムの推進を図ること、圏域内に住む人たちが、高齢になっても住み慣れた地域で暮らしていけるまちづくりに取り組む。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって情報共有・意見交換等を調整し、地域包括ケアシステムの推進は各市町が実施する。					
費用分担の 考え方	関係市町で応分の負担を行う。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	情報共有・意見交換会の実施回数(回)【※累計】		—		5	
SDGs 17の目標						
圏域メリット	規模					

(2) 結婚・出産・子育て支援の充実(32)

取組名	病児・病後児保育の広域受け入れ(321)	連携市町	全市町			
取組概要	病児・病後児保育の広域利用に取り組む。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	1,247	1,247	1,247	1,247	1,247	6,235
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	広域利用での子どもの受け入れ割合(%)		100		100	
SDGs 17の目標						
圏域メリット	範囲					

取組名	保育を必要とする子どもの広域受け入れ (322)	連携市町	全市町			
取組概要	保育を必要とする子どもの保護者の勤務地が、居住する市町以外の場合や里帰り出産の場合等に関り、可能な範囲で利用調整を行い、広域受け入れを実施する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	23,342	23,342	23,342	23,342	23,342	116,710
役割分担の 考え方	広域受け入れの要件を満たす保護者に他市町の保育所等の利用希望がある場合、関係市町が協議を行い、広域受け入れを実施する。					
費用分担の 考え方	子どもの保育に要した費用について、保護者の居住する市町が負担する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	広域利用希望者に係る 利用調整割合(%)		100		100	
SDGs 17の目標	  					
圏域メリット	範囲					


取組名	児童クラブ支援員研修の連携(323)	連携市町	全市町			
取組概要	圏域内市町それぞれが実施する児童クラブ支援員研修のうち、参加枠に余裕のあるものについて、他市町の支援員が参加できるように連携を図る。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	48	48	48	48	48	240
役割分担の 考え方	研修会を開催する市町が中心となって実施する。					
費用分担の 考え方	関係市町それぞれが予算措置をする。必要に応じて各市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	合同研修会の実施 回数(回)【※累計】		—		5	
SDGs 17の目標						
圏域メリット	範囲					

取組名	子育てイベントや研修の共同開催(324)	連携市町	全市町			
取組概要	圏域内市町で連携を図り、子育てイベントや、子育て支援事業者向けの研修を共同開催する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	740	740	740	740	740	3,700
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)	基準値(R1年度)		目標値(R7年度)		
	共同・連携して実施した イベントや講座、研修会等の 回数(回)【※累計】	8		40		
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット	範囲					

取組名	出会いイベント等による婚活支援事業の 連携・共同実施(325)	連携市町	全市町			
取組概要	出会いイベント等による婚活支援について、各市町が連携して取り組む。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	5,390	5,390	5,390	5,390	5,390	26,950
役割分担の 考え方	婚活関係イベントは各市町が連携して実施し、その他新たな連携事業を行う際には協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)	基準値(R1年度)		目標値(R7年度)		
	婚活イベントでの カップル成立数(組) 【※累計】	227		500		
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット	範囲					

取組名	産後ケア事業の推進(326)	連携市町	全市町			
取組概要	産後の体調不良や育児不安があり、家族等から十分な援助を受けられない方に対し、産後ケア事業の利用により、安心して育児ができるよう、各市町が連携して広域利用に取り組む。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって圏域市町の現状把握や課題の共有を行い、広域での産後ケア事業の推進についての方策を検討する。					
費用分担の 考え方	関係市町で応分の負担を行う。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	広域連携による産後ケア事業の実施自治体数(市町)		—		6	
SDGs 17の目標	  					
圏域メリット	規模					

(3)文化・スポーツ施策等を通じた圏域の活性化(33)




取組名	圏域全体の図書館利用対象者の拡大(331)	連携市町	全市町			
取組概要	各市町立図書館の利用対象者を松山圏域に拡大する。また、圏域内各図書館のPRを実施するほか、新たな利便性向上の取組策を検討する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって調整し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	必要が生じた場合は協議により決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	圏域内の住民が図書館利用登録できる市町の数(市町)		6		6	
SDGs 17の目標						
圏域メリット	範囲					



取組名	圏域全体の文化施設の戦略的な活用(332)	連携市町	全市町			
取組概要	博物館等の文化施設について、出張展示等による情報発信のほか、観光、文化、学習等の様々な視点での戦略的な活用策の検討を行う。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって調整し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	相互出張展示等については、実施市町(各施設間)で負担する。 その他については、関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	出張展示等の開催数(回)		1		2	
SDGs 17の目標						
圏域メリット						

取組名	プロスポーツ支援(333)	連携市町	全市町			
取組概要	圏域住民がスポーツに親しむ機会を増やすとともに、交流人口の拡大を図るため、プロスポーツへの支援を行う。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	45,000
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	プロスポーツ支援 イベント数(回)		12		20	
SDGs 17の目標						
圏域メリット						

取組名	スポーツ大会等の誘致・開催に向けた連携協力(334)	連携市町	全市町			
取組概要	スポーツ大会、合宿等の誘致・開催について、圏域で連携し、柔軟な会場確保や文化体験の充実を図ることで、大規模大会等の誘致・開催を進め、圏域全体の活性化に繋げる。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	実施主体の市町が負担する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	圏域で連携した スポーツ大会等の 開催件数(件)		1		4	
SDGs 17の目標	  					
圏域メリット	 					

(4)災害対策の推進(34)


取組名	災害対策広域連携事業の推進(341)	連携市町	全市町			
取組概要	圏域の防災力向上を図るため、担当者会議や合同訓練等を実施することにより、平常時からの連携強化に取り組む。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	広域的な災害対策に 関する会議、合同訓練等 の開催回数(回)		1		1	
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット						



取組名	災害時の廃棄物処理に関する連携の推進(342)			連携市町	全市町	
取組概要	災害時に廃棄物処理を連携して行えるよう、体制の整備を行う。					
概算費用(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標(KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	検討会の開催数(回)		—		1	
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット	範囲					



(5) 環境保全施策の推進(35)



取組名	圏域での地球温暖化対策の推進(351)			連携市町	全市町	
取組概要	圏域内で開催されるイベントでクールチョイスなど環境に配慮した行動を啓発し、圏域での温室効果ガス削減に向けた地球温暖化対策を推進する。					
概算費用(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の考え方	環境フェアでは松山市が中心となるなど、連携する各市町のイベントや取組によって協議し決定する。					
費用分担の考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標(KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	啓発イベントの回数(回)【※累計】		—		5	
SDGs 17の目標	     					
圏域メリット	範囲					

取組名	環境学習・普及啓発の推進(352)	連携市町	全市町			
取組概要	圏域で情報共有を図り、連携して環境に関する学習や普及啓発を推進するとともに、環境問題に精通する人材を圏域で育成する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	環境学習及び普及啓発の内容によって、役割を各市町と協議し決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	検討会の開催数(回)		—		2	
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット	範囲					




取組名	合併処理浄化槽の普及促進(353)	連携市町	全市町			
取組概要	生活排水による河川等公共用水域の水質汚濁防止のため、圏域で連携して協議会を設立し合併処理浄化槽の普及促進を図る。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	協議会開催回数(回)		1		1	
SDGs 17の目標						
圏域メリット	規模					


取組名	汚泥の共同処理に係る調査研究(354)			連携市町	全市町	
取組概要	効率的な汚泥処理を行うため、圏域市町で連携して、汚泥の共同処理について、調査研究を行う。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	担当学会議開催回数(回)		1		1	
SDGs 17の目標						
圏域メリット	規模					

取組名	重信川流域自治体による地下水の保全(355)			連携市町	松山市、伊予市、東温市、松前町、砥部町	
取組概要	重信川流域の地下水を保全するため、流域自治体で連携して保全策の協議、検討を行う。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	90	90	90	90	90	450
役割分担の 考え方	必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	重信川流域地下水保全連絡会の開催数(回)		1		1	
SDGs 17の目標						
圏域メリット	範囲					

取組名	圏域内でのごみ処理広域化の検討(356)			連携市町	全市町	
取組概要	圏域内市町のごみ処理広域化について、協議会を設置し、検討を進める。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	13,200	—	—	—	—	13,200
役割分担の 考え方	松山ブロックごみ処理広域化検討協議会の中で検討する。					
費用分担の 考え方	協議会構成団体と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	幹事会の開催数(回)		—		2	
SDGs 17の目標						
圏域メリット						

(6)暮らしたい・戻りたいと思える圏域づくり(36)



取組名	移住の促進(361)			連携市町	全市町	
取組概要	圏域への移住を促進するため、コロナ禍により地方居住が注目されている動きにも留意し、圏域イメージの向上をはじめ、移住相談窓口の連携強化、移住フェア等を共同で実施する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	2,208	2,208	2,208	2,208	2,208	11,040
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	圏域で連携して実施する移住フェア等での各ブースの延べ相談人数(人) 【※累計】		—		180	
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット						




取組名	広報紙の連携(362)	連携市町	全市町			
取組概要	エリアプライド(圏域への愛着や誇り)の醸成を図り、定住に繋げるため、広報紙への圏域情報の掲載や相互掲載等を実施する。					
概算費用(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	800	800	800	800	800	4,000
役割分担の考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標(KPI)	指標名(単位)	基準値(R1年度)		目標値(R7年度)		
	圏域情報の広報紙への相互掲載回数(回)【※累計】	4		20		
SDGs 17の目標						
圏域メリット	範囲					

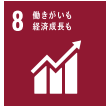
取組名	若者のふるさと体験を通じた誇りや愛着の醸成(363)	連携市町	全市町			
取組概要	若者が3市3町の魅力を知り、圏域への誇りや愛着を育む機会を設けるとともに、若者自身の手でその情報を拡散するなど圏域のPRを行う。					
概算費用(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標(KPI)	指標名(単位)	基準値(R1年度)		目標値(R7年度)		
	連携事業数(件)【※累計】	—		10		
SDGs 17の目標	  					
圏域メリット	範囲 密度					

取組名	民間が主導する連携事業の推進(364)	連携市町	全市町			
取組概要	商店街活性化やまちづくりなど、様々な分野で民間が行う圏域市町連携の取組を支援し、賑わいの創出や圏域市町製品のPR等を行う。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市を中心としつつ、各市町と協力して実施する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	連携事業への出展回数(回)		—		5	
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット	範囲					

(7) 圏域内行政サービス効率化等の推進(37)

取組名	公共データの公開拡充と利活用促進(371)	連携市町	全市町			
取組概要	オープンデータ数の拡充及び国が示す推奨データセット数の拡充により、地域課題解決のための利活用の促進に取り組む。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	公開したオープンデータの ファイル数(件)【※累計】		1,048		1,550	
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット	規模					

取組名	空き家対策及び公営住宅の管理等の共有化(372)			連携市町	全市町	
取組概要	松山圏域の3市3町が抱えている空き家対策及び公営住宅の管理等の課題解決に向けて連携する。					
概算費用(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標(KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	担当学会議開催回数(回)		1		1	
SDGs 17の目標						
圏域メリット	 					

取組名	実務研修員の受け入れ(373)			連携市町	全市町	
取組概要	様々な行政課題の解決と職員の人材育成のため、圏域市町間で実務研修員の受け入れを行う。					
概算費用(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標(KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	受入実績人数(人)		2		1	
SDGs 17の目標						
圏域メリット	